



2019年5月21日

各位

会社名 株式会社ポプラ
 代表者名 代表取締役社長 目黒 真司
 (コード番号 7601 東証第1部)
 問い合わせ先 執行役員経営企画室長 大竹 修
 (TEL 082-837-3510)

特別利益の計上ならびに2020年2月期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、持分法適用関係会社である株式会社ローソン山陰の当社が保有する株式を株式会社ローソンへ譲渡することを決定したことに伴い、株式譲渡益(特別利益)の計上ならびに2019年4月11日に公表しました2020年2月期業績予想につきまして、連結業績予想および個別業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想数値の修正

(1) 2020年2月期第2四半期累計期間の連結業績予想数値の修正(2019年3月1日~2019年8月31日)

	営業総収入	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	13,249	△78	26	84	7.13
今回修正予想 (B)	13,249	△78	△10	1,293	109.73
増減額 (B-A)	0	0	△36	1,209	
増減率 (%)	—	—	—	1,439.2	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2019年2月期第2四半期)	13,403	△111	21	△8	△0.75

(2) 2020年2月期通期の連結業績予想数値の修正(2019年3月1日~2020年2月29日)

	営業総収入	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	26,344	△127	20	25	2.18
今回修正予想 (B)	26,344	△127	7	1,108	94.01
増減額 (B-A)	0	0	△13	1,083	
増減率 (%)	—	—	—	4,332.0	
(ご参考) 前期実績 (2019年2月期)	26,092	△399	△198	△2,185	△185.39

2. 個別業績予想数値の修正

(1) 2020年2月期第2四半期累計期間の個別業績予想数値の修正(2019年3月1日~2019年8月31日)

	営業総収入	経常利益	四半期 純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	12,790	14	73	6.21
今回修正予想 (B)	12,790	14	2,101	178.29
増減額 (B-A)	0	0	2,028	
増減率 (%)	—	—	2,778.0	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2019年2月期第2四半期)	13,000	43	14	1.23

(2) 2020年2月期通期の個別業績予想数値の修正 (2019年3月1日～2020年2月29日)

	営業総収入	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	25,409	29	35	3.05
今回修正予想 (B)	25,409	29	1,914	162.41
増減額 (B-A)	0	0	1,879	
増減率 (%)	—	—	5,368.5	
(ご参考) 前期実績 (2019年2月期)	25,260	△171	△2,137	△181.31

3. 特別利益の内容および修正の理由

山陰地域における CVS 事業について、2016年11月より株式会社ローソンとの共同運営事業として「ローソン・ポプラ」および「ローソン」ブランドを展開する事業会社である株式会社ローソン山陰を設立し運営を開始しました。当社はその発行株式の30%を保有し、共同運営の形で山陰事業参画を行うとともに、ポプラの特徴である店舗で炊いたご飯を盛り付ける「ポップ弁」の製造事業者として「ローソン・ポプラ」店舗への供給を行ってまいりました。

共同運営事業は、当初「ポプラ」から54店舗が「ローソン・ポプラ」へ転換しスタートし、その後もブランドチェンジを行い、「ローソン・ポプラ」は間もなく100店舗に達する見通しとなるなど順調に進んでおりますが、山陰地区においては人口減少や高齢化、他社 CVS や他業態間の競合が厳しくなっており、これまで以上にスピーディな経営判断が求められる状況となっております。

このような状況のなか、当社はポップ弁の製造供給事業者のポジションに特化し、運営をローソン主体での実施へ転換することが今後の山陰事業および当社にとって最良と判断し、当社が保有する全株式4,285株について1株あたり821,704円、合計35億21百万円にて売却を行うことといたしました。

売却により、連結業績で13億96百万円、個別業績で21億78百万円の株式売却益（特別利益）を計上することとなりましたので、2020年2月期の第2四半期累計連結業績予想および通期連結業績予想、2020年2月期の第2四半期累計個別業績予想および通期個別業績予想の修正を実施することといたしました。

尚、山陰株式の売却は行うものの、株式会社ローソンとの関係に関しては何ら変わることはなく、今後とも様々な分野で連携を実施してまいります。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。実際の業績は、様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上